

安全なインターネット利用のための ルール策定に向けて

安全なインターネット利用のための学校ルールや家庭のルールを策定できるよう、ルール作りの策定資料を作成しました。GIGA端末の利用も増え、学習用タブレット利用や持ち帰りに関するルールを新しく策定することも考えられます。学校や学級の現状にあわせて、ルールの策定をお願いします。

事例1 まずは利用状況を知る。そして場面ごとにルールを。

「ゲームやスマホは1日〇時間」のように、利用内容や利用場面が想定できないルールは、決めてもなかなか守れない場合があります。児童生徒にルールを考えさせる場合は、まずは自身の利用状況を把握させるところから始めましょう。



① 普段、お家でどのようなメディアをどれくらい見たり、使ったりしていますか？メディア別に考えてみましょう。

使っているメディア	使っている時間	使っているメディア	使っている時間
ゲーム機		テレビ	
スマートフォン		タブレット	

② 自分にとって、もっともよいメディアバランスを場面ごとに考えてみよう。

	どのメディアを？	どの時間帯に？	何分使う？
平日の夕方 家に帰ってから夕飯を食べるまで			
平日の夜 夕飯を食べてから寝るまで			
お休みの日			

ルール作りのポイント

1. ルールは具体的に

「嫌な言葉を送らない」では、人によって解釈が異なることもあるため具体的に考える。

2. ルールを作る理由を共有する

なぜそのルールがあるか、ルールが守られないとどのような事が起こりえるかを共有する。

3. 守れなかった時にどうするか

決めたルールを守れなかった時にどうするかも、ルール作成時に決める。

ルールの具体例 1人1台端末の場合

下記は他の自治体や学校で策定しているGIGA端末利用のルールの一例です。
GIGA端末のルールを学校や利用者に合ったルールを策定の参考にしてください。

利用目的	学習以外の目的で使用しない。	使う場所や時間	GIGA端末は決められた場所や時間に使う。
	学習に関係のないウェブサイトを開かない。		不安定な場所や、不安定な姿勢で使わない。
	持ち帰り時は、家族も含めて他の人に貸さない。		休み時間の利用については先生に確認する。
取り扱い	使わない時は決められた場所にしまう。	カメラの使用	相手の許可なく、人や持ち物を撮影しない。
	こわしてしまわないように丁寧に使う。		先生が許可した目的以外でカメラを使わない。
	持ち帰り時は、濡れないように気を付ける。		誰かを撮影する時は、必ず相手の許可をとる。
	片手で盛ったり、持ったまま走ったりしない。	健康	30分に1度は遠くの景色をみるなど、目を休ませる。
	日光の下やストーブの近くなどには置かない。		タブレットを使う時は、良い姿勢で画面から目を30cmより離す。
	持ち帰るときは、登校中、下校中にGIGA端末を取りださない。		寝る前の30分はGIGA端末を使わない。
その他	相手を傷つけたり、いやな思いをさせる書き込みをしない。	あやしいサイトに入ってしまった時は、すぐに画面を閉じ、先生に知らせる。	
	自分や他の人の個人情報(名前、住所、電話番号、写真など)はインターネット上にあげない。	撮影した写真は、先生が許可した目的以外でインターネットにアップロードしない。	
	許可されていないSNSサービス(TwitterやLINE等)を使わない。	自分のIDとパスワードは自分だけが分かる場所に書き留めておくなど忘れないようにする。	
	もしこわれたり、なくなったりしたときには、すぐに先生に知らせる。	パスワードを他の人や友だちに教えない。	

ルールの具体例 家庭用端末の場合

下記は他の自治体や学校で策定しているネット利用のルールの一例です。
家庭用端末のルールを学校で策定する際の参考にしてください。

利用時間	スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯を決めよう。	使う場所	インターネットにつなぐ時は、家族と一緒にやろう。
	寝る2時間前には、使ったり遊んだりせずに目を休めよう。		お風呂や布団の中には、もっていかないようにしよう。
	寝ている時に気にならないように、寝るときは電源を切ろう。		スマホやゲーム機はリビングなど決められた場所に置こう(なるべく自分の部屋には置かない)。
個人情報	自分の名前や学校名、写真などは公開しません。	コミュニケーション	見た人が不快に感じたり傷ついたりする内容ではないかを確認めよう。
	自分のIDやパスワードを他の人に教えません。		相手や見る人の気持ちになって、何度か読み返してから送信しよう(心配な時は家の人に確認してもらおう)。
	SNSに、自分が特定されるような写真、情報はのせません。		友だちや家族と対面しているときは、スマートフォンやゲーム機などの使用は控え、会話を大切にしよう。
セキュリティ	ブロック機能・フィルタリングを使おう。	お金	インターネットでお金を使うときは、必ずお家の人の許可をもらおう。
	危険を感じたら、その場で操作を止めておうちの人に相談しよう。		インターネットでの物の売り買いをするときは、お家の人と一緒にやろう。
	不必要なアプリのダウンロードはやめよう。		お金で購入したゲーム内のアイテム、スタンプなどを友だちに送るのは控えよう。
その他	ネット上の情報はすべて真実とはかぎらない。本当かウソかを確認するようにしよう。	ネット上のやりとりでトラブルになったとき、トラブルになりそうな時は直接会って話をしよう。	
	歩きながらスマホを使わないようにしよう。	マンガやテレビのキャラクターなど、他の人の著作物を勝手に使わないようにしよう。	
	ネット社会以外の活動にも目を向けて、リアルな体験をしよう。	インターネットを使っていて困ったこと、苦しい事があったときは周りの大人に相談しよう。	